

林業の成長産業化に向けた取組

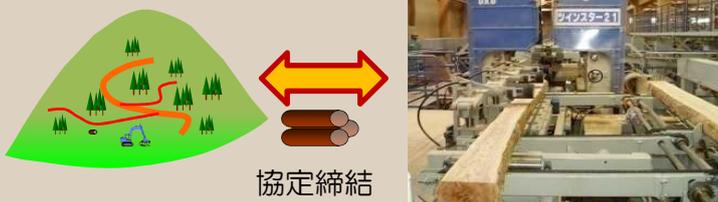


林業の成長産業化に向け、木材の安定供給や林業の低コスト化推進に取り組むとともに、技術の普及を図ります。

地域の木材産業のニーズに合致した丸太生産やシステム販売による**木材の安定的な供給**に取り組めます。

木材の安定供給の推進

「安定供給システム販売(※)」を引続き推進します。
また新たに、申請者の企画提案した採材方法等によるシステム販売を行います。



※: 製材工場等との間で木材の計画的な供給に関する協定を締結し、毎年度工場等へ安定的に木材を供給する販売方法

高齢級秋田スギのブランド化に向けた取組

秋田県が取り組んでいる秋田発ジャパブランド育成支援事業の中に、高齢級秋田スギを「あきたの極上品」と位置づけ、国有林から生産される丸太で先行実施し、民有林への普及を図ります。



高齢級秋田スギに使用するロゴマーク

林業の低コスト化推進のため、一貫作業システムや、列状間伐と森林作業道を組み合わせた効率的な作業システムの推進に取り組むとともに民有林への普及定着を図ります。

一貫作業システムの推進

伐採とコンテナ苗を用いた植栽を連続的に実施する「一貫作業システム」について全署で取組を推進します。

また、立木の販売や伐採の複数年契約においても伐採とコンテナ苗を用いた植栽を連続的に実施する一貫作業システムに取り組めます。



コンテナ苗

一貫作業システム

伐採・搬出

コンテナ苗植栽

伐採・造林で同時、並行作業が可能

列状間伐による効率的な作業システムの推進

既設の森林作業道を最大限に活用し、適切な路網配置と列状間伐を組み合わせた効率的な作業システムの推進に取り組めます。



現地検討会等による技術の普及

得られた技術・知見を普及させるため、県等と連携し、民有林関係者との現地検討会等を積極的に開催します。



現地検討会での説明の様子



コンテナ苗活用に向けた検討会の様子